

6月度月例句会（通信句会）会報・HP掲載句

六月詠草

兼題：水羊羹、蛭袋、当季雑詠

水羊羹ガラスの皿にすこし揺れ	城戸崎雅崇
来客に笹の葉敷いて水羊羹	石原 克己
散歩後の水羊羹の喉滑る	森 邦彦
着飾つて紅さす前の水羊羹	佐藤 政百
然りげ無く切り出す話水羊羹	安井 正浩
にはか雨蛭袋と雨宿り	大仲 正敏
卯の花を尋ねて万歩鄙の道	中山 知祐
老鶯や茜雲負ふ古城かな	生江沢五風
亡き母や中野の駅を通るたび	眞田 宗興
	以上